

発 明 の 名 称 <p style="text-align: center;">樹皮油吸着材の処理方法</p>		
技 術 分 野 <input type="checkbox"/> 電 機・電 子 <input type="checkbox"/> 機 械・加 工 <input type="checkbox"/> 情 報・通 信 <input type="checkbox"/> 化 学・薬 品 <input checked="" type="checkbox"/> 有 機 材 料 <input type="checkbox"/> 無 機 材 料 <input type="checkbox"/> 金 属 材 料 <input type="checkbox"/> 輸 送 <input type="checkbox"/> 食 品・バ イ オ <input type="checkbox"/> 生 活・文 化 <input type="checkbox"/> 土 木・建 築 <input type="checkbox"/> 繊 維・紙 <input type="checkbox"/> 農 林・畜 水 産 <input type="checkbox"/> 医 療・介 護 <input checked="" type="checkbox"/> そ の 他 (環 境)	利 用 分 野・適 用 製 品 ・事故で回収した重油や吸着剤をバーク(樹皮)堆肥で分解処理する技術	技 術 情 報 詳細資料： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 サンプル： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見 学： <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 実施権許諾実績： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 事業化実績： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 そ の 他：
従 来 技 術 の 課 題・問 題 点 等 油流出事故による油回収物の処理方法は、日本ではほぼ全量が焼却処分されている。特に海洋事故による油回収物は、回収物中の油分が10～20% (残りは、海水、砂、木屑など)と少ないことから、そのままでは燃えず灯油を添加していたため、大量のCO2排出を伴う非効率な処理であった。		
本 発 明 に よ り 解 決 し た ポ イ ン ト 本発明は、回収した油回収物をバイオ処理することにより、従来の方法である「石油製品油吸着材+焼却処理」に比べて、CO2の排出量を約1/3に減量することができる低環境負荷型の処理技術である。		
技 術 の 概 要 (構 造 ・ 動 作 等) 本発明は、全国で容易に入手可能なバーク(樹皮)と畜糞で製造されるバーク堆肥を使用する。堆肥中にわずかに自生する油分解菌であるCFB菌を、温度、水分、油分濃度の制御により高効率に出現させ、好気発酵条件の制御により高温(60～70℃)を維持することで油分解速度を速めた廃油バイオ処理システムである。		
図 ・ 写 真 ・ 特 記 事 項 等		
特 許 情 報 登録番号/公開番号: 特許第 3858071 号 出 願 日: 平成 15 年 3 月 31 日 (2003 年) 登 録 日: 平成 18 年 9 月 29 日 (2006 年) 権利者/出願人: 大分県		関 連 特 許 情 報 登録番号/発明の名称: